（３）年齢構造指数の推移

年少人口指数は 19.7 で前年より 0.4 ポイント低下した。老年人口指数は 37.6 で前年より 0.3 ポイント上昇した。年少人口指数は平成２年以降大きな変化は見られない。

一方、老年人口指数であるが、昨年に引き続き年少人口指数を上回った。

従属人口指数は前年より 0.1 ポイント低下し 57.3 となった。また、老年化指数は前年より 4.9 ポイント上がり 190.8 となった。

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口（0～14 歳）}}{\text{生産年齢人口（15～64 歳）}}$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口（65 歳以上）}}{\text{生産年齢人口（15～64 歳）}}$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口（0～14 歳）} + \text{老年人口（65 歳以上）}}{\text{生産年齢人口（15～64 歳）}}$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口（65 歳以上）}}{\text{年少人口（0～14 歳）}}$$

【表８】　年齢構造指数の推移　　各年１月１日現在

年次 / 指数	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平27	平30	平31	令2	令3	令4	令5	令6	令7
年少人口指数	27.7	22.0	19.8	19.8	20.4	20.3	20.1	20.4	20.5	20.5	20.6	20.4	20.3	20.1	19.7
老年人口指数	9.6	11.8	15.1	20.0	25.2	30.4	34.4	35.9	35.9	36.2	36.6	37.0	36.9	37.3	37.6
従属人口指数	37.4	33.8	34.8	39.8	45.6	50.6	54.5	56.3	56.4	56.8	57.2	57.4	57.2	57.4	57.3
老年化指数	34.7	53.8	76.3	100.9	123.2	149.9	170.9	176.1	175.4	176.6	178.1	181.8	182.3	185.9	190.8